



よいしょ～！

～市民ふれあい交流【冬の巻】～

1月23日(日)、サンラックおぢやで「市民ふれあい交流【冬の巻】」が行われました。

会場には、恒例の「まゆ玉」づくりや駄菓子やさん、昔あそびのコーナー、おもちゃ病院などが設けられ、大人も子どもも夢中になって楽しんでいました。

お昼前には餅つきが行われ、つきたてのお餅が来場者に振舞われました。

●今月の主な内容

- 市・県民税、所得税の申告受付 2～3
- 子宮頸がん予防などワクチン接種の助成開始 .. 4～5
- 「市職員の待遇などに関するアンケート」結果 6
- 4月からの有料広告を募集します 10
- ごみの出し方「こんなとき、どうするの？」..... 11
- 健診・お知らせ 12～15
- 田中優子さんの講演会 15

税の申告は正しくお早めに

市・県民税、所得税の申告受付は2月16日(水)～3月15日(火)

申告が必要な方

●市・県民税の申告

平成23年1月1日現在小千谷市に住所がある方は、原則として市・県民税の申告が必要です。

市では、申告が必要と思われる方に市・県民税申告書を郵送しますが、送付された方でも、次の方は申告の必要はありません。

- 所得税の確定申告をした方
- 平成22年中の収入が1か所からの給与のみで、勤務先で年末調整を受けられた方で、勤務先より市へ「給与支払報告書」が提出されている方
- 平成22年中の収入が公的年金収入のみで、社会保険料・生命保険料などの控除を受ける必要のない方

※申告が必要な方で申告書が届いていない場合は、税務課までご連絡ください。

●所得税の確定申告

次の項目に該当する方は、所得税の確定申告が必要です。

- 事業収入や不動産収入のある方、土地や建物を売った方などで、平成22年中の所得金額の合計額が、基礎控除・扶養控除などの所得控除の合計額を超える方
- 給与所得者で給与の年収が2000万円を超える方
- 給与を1か所から受けていて、年末調整が済んでいるが、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が20万円を超える方
- 給与を2か所以上から受けていて、年末調整をされなかった給与収入額と給与所得や退職所得以外の各種所得額の合計額が20万円を超える方

■小千谷税務署による確定申告の相談日程

会場	期間	時間
サンプラザ大ホール（3階）	2月16日(水)～3月15日(火) ※土・日曜日は除きます	午前9時～午後4時

※期間中は、小千谷税務署での確定申告の受付・相談は行っていませんのでご注意ください。

■市・県民税申告（確定申告）相談日程

会場	期間	時間
市役所税務課（2階）	2月16日(水)～3月15日(火) ※土・日曜日は除きます	午前8時30分～午後5時

※市・県民税申告書は、片貝総合センター・各住民センターにも提出できます。
なお、片貝総合センター・各住民センターへの申告出張相談は行いません。

●お願い

例年申告初日と、申告期間前半の午前中はたいへん混み合います。
長い時間お待ちいただく場合もありますのでご了承ください。



■市・県民税の問い合わせ先
税務課市民税係 ☎ 83・3508

■所得税の問い合わせ先
小千谷税務署個人課税部門 ☎ 83・0274

申告にお持ちいただくもの

- ①年金受給者・給与所得者は源泉徴収票（原本）
- ②営業、農業、不動産所得がある場合は、それらの収支内訳書
- ③各種控除に必要な証明書・領収書（年末調整で控除していない社会保険料などの支払いがわかる書類、生命保険・地震保険などの支払証明書、集計済みの医療費領収書など）
- ④所得税が還付となる方は、還付金振込口座（申告者名義）のわかるもの
- ⑤印鑑、筆記用具、計算用具など

自書申告をお願いします

確定申告書は自分で作成し、e-Taxや郵送などで早めに提出してください。

受付会場では担当者が相談に応じますが、みなさんが自分で計算し、記入していただく「集団指導」を中心に行います。

待ち時間を少なくするためにも、できる限り事前に記入してきてください。

市・県民税申告書も、書き方を参考に自書申告をお願いします。

保険料（税）も所得控除になります

平成22年中に支払った次の保険料（税）は社会保険料控除の対象になります。なお、控除を受けるには、いずれも申告が必要です。

○国民年金保険料

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付または提示が必要となります。

証明書は日本年金機構から保険料支払者に送付されていますのでご確認ください。

再発行は長岡年金事務所（長岡市台町2-9-17） ☎88-0003で行っています。

○国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料

平成22年中に国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の普通徴収分を納付した方（世帯）には、1月下旬に「平成22年分国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付額のお知らせ」を送付しました。

この通知は、申告時の参考資料としてご利用ください。

※年金から天引きされている特別徴収分については、被保険者本人以外は控除の対象にはなりません。

要介護者も「認定書」などで障害者控除・医療費控除の対象になります

○障害者控除

65歳以上の方のうち、介護保険の要介護1以上の認定を受けられた方で身体障がい者などに準ずると認められた方は、障害者（特別障害者）控除の対象となります。

障害者控除の申告をする場合は、保健福祉課が交付する「障害者控除対象者認定書」が必要です。

○医療費控除

寝たきりの方でおむつを使用されている場合は、医療費控除の対象となる場合があります。

この申告をする場合は、医師による「おむつ使用証明書」、または保健福祉課が交付する「おむつ代に係る医療費控除の証明事項確認書」が必要となります。

■問い合わせ／保健福祉課介護保険係 ☎83-4060

国税庁ホームページをご利用ください

確定申告書の作成は、国税庁ホームページをご利用ください。

○国税庁ホームページ

URL <http://www.nta.go.jp/>

※「国税庁」で検索できます。

○e-Taxホームページ

URL <http://www.e-tax.nta.go.jp/>

※「イータックス」で検索できます。



※ホームページのイメージ画像です。

子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業を開始しました

●子宮頸がん予防ワクチン

発がん性HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を防いでくれる子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を全額助成します。

今回対象者の方には、個人通知を郵送しました。このワクチンは希望による接種となりますが、内容をご覧になりぜひこの機会に接種してください。

■助成対象者／▽平成22年度・中学3年生に相当する年齢（平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ）の女子▽平成23年度（予定）・新たに中学1年生から中学3年生になる年齢（平成8年4月2日～平成11年4月1日生まれ）の女子※4月に個人通知を送付予定。

■接種回数／3回

※2回目は1回目から1か月後、3回目は1回目から6か月後に接種します。

■助成期間／2月1日～平成24年3月31日

■接種費用／無料

※助成期間を過ぎてからの接種は全額自己負担となります。

※平成23年1月31日以前に接種した場合の払い戻しはありません。

※接種当日に体調不良などにより予診のみで、接種できなかった場合には料金がかかることがあります。

■実施場所／各実施医療機関（左表参照）

■持参するもの／接種通知書兼接種済証、予診票、小千谷市の住民であることが確認できるもの（本人の健康保険証・生徒手帳など）

■接種後の副反応／まれな副反応として、失神、接種局所のひどい腫れ、発熱、めまいなどが起こることがあります。

■問い合わせ／健康センター保健係 83・3640

●ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン

細菌性髄膜炎の原因の80～90%はヒブと肺炎球菌が原因と言われており、毎年全国で約1000人の子どもたちが細菌性髄膜炎にかかっています。ときに命にかかわったり、重い後遺症を残すこともあるため、ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチン接種費用を全額助成します。

これらのワクチンは希望による接種です。対象者の方には1月下旬に「接種についてのお知らせ」を送付していますので、効果や目的を理解したうえで接種してください。

■助成対象者／生後2か月から5歳未満

■接種回数／年齢により1～4回（下表参照）

■助成期間／2月1日～平成24年3月31日

■実施場所／各実施医療機関（左表参照）

■接種費用／無料

※接種当日に発熱などにより予診のみで接種できなかった場合には料金がかることがあります。

■持参するもの／母子健康手帳、小千谷市の住民であることが確認できるもの（お子さんの医療費助成受給者証など）

■問い合わせ／健康センター予防係 83・3640

■ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種回数とスケジュール

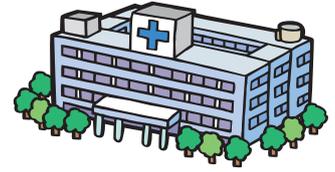
○ヒブワクチン

初回接種開始年齢	接種回数	内 訳			
		初回接種		追加接種	
		回数	間隔	回数	間隔
生後2か月～7か月未満	4回	3回	4～8週間	1回	初回終了後おおむね1年後
生後7か月～12か月未満	3回	2回	4～8週間	1回	初回終了後おおむね1年後
1歳～5歳未満	1回	1回	—		

※医師が必要と認めた場合は、初回の間隔を3週間で接種することができます。

○小児用肺炎球菌ワクチン

初回接種開始年齢	接種回数	内 訳			
		初回接種		追加接種	
		回数	間隔	回数	間隔
生後2か月～7か月未満	4回	3回	27日以上	1回	12～15か月齢、初回終了後60日以上
生後7か月～12か月未満	3回	2回	27日以上	1回	12か月齢以降、初回終了後60日以上
1歳～2歳未満	2回	2回	60日以上		
2歳～5歳未満	1回	1回	—		



■接種できる医療機関

接種の際はあらかじめ医療機関に予約申込が必要です。接種を受けたい日の3日前までに、希望する医療機関に申し込んでください。

医療機関名		接種できる曜日や受付時間など	子宮頸がん 予防	ヒブ	小児用肺炎 球菌
魚沼病院 (城内4) ☎83-2870	産婦人科	▷木曜日：午後4時～4時30分 ▷第1・3・5土曜日：午前11時10分～11時40分	○	—	—
	小児科	月・木曜日：午後2時～3時	—	○	○
小千谷総合病院 (本町1) ☎83-3600	婦人科	月・水～金・第2・4土曜日 午前9時～11時30分 ※平成22年度に中学3年生の方は、平成23年度は 婦人科のみでの接種となります。	○	—	—
	小児科	▷子宮頸がん予防／ 月～金曜日：午後4時～4時30分 ▷ヒブ・小児用肺炎球菌／ 金曜日のみ：午後2時～2時30分	○	○	○
池田内科医院 (城内2) ☎82-6568		月～土曜日：診療時間内	○	○	○
片貝医院 (二之町) ☎81-2624		月・金曜日：午後3時30分～5時30分	○	○	○
さわなか医院 (城内3) ☎81-0058		月～土曜日：診療時間内	○	○	○
谷口医院 (元中子) ☎83-0111		月・木曜日：午後2時～3時	○	○	○
中村内科消化器科医院 (本町2) ☎81-1730		月～土曜日：診療時間内	○	○	○
にたはらこどもクリニック (桜町上) ☎81-6811		月・水・金曜日：午後2時～3時	○	○	○
藤巻医院 (本村) ☎86-3006		第2・4土曜日：午前9時～正午	○	○	○
森平レディースクリニック (若葉3) ☎83-3104		月～土曜日：診療時間内	○	—	—
山本医院 (桜町上) ☎81-7717		月～土曜日：診療時間内	○	—	—
北村医院 (城内1) ☎82-7212		月～水・金・土曜日 午前9時～正午、午後3時～5時（土曜日を除く）	○	—	—

■子宮頸がん

子宮頸部（子宮の入り口付近）にできるがんです。20代後半から30代の女性の発症率が増加傾向にあります。しかし、20歳以上からの「定期的な子宮がん検診受診」と子宮頸がんの原因の1つであるHPV（ヒトパピローマウイルス）に感染する前の「子宮頸がん予防ワクチン接種」で予防が可能です。

■ヒブ（インフルエンザb菌）

せきやくしゃみなどの飛沫が体内に入り込み感染します。ほとんどは症状が出ずに治りますが、中には重篤な症状になり髄膜炎や敗血症を起こし、病状が悪くなる場合があります。特に生後3か月から2歳になるまでかかりやすいと言われています。

インフルエンザb型と呼ばれていますが、通常に流行する「インフルエンザウイルス」とはまったく別のものです。

■小児用肺炎球菌

普段から子どもの鼻や喉にいる菌で、抵抗力の低下や粘膜が弱くことで体に影響を及ぼします。肺炎球菌が原因の髄膜炎や中耳炎を起こすことがあります。

「市職員の接遇などに関するアンケート」の結果をお知らせします

市では、窓口サービスの向上のため「市職員の接遇などに関するアンケート」を実施しました。

この度、アンケート結果がまとまりましたので報告します。

アンケートにお答えいただいたみなさんには、お忙しいところご協力いただき、たいへんありがとうございました。

■アンケート実施期間

平成22年12月6日(月)～24日(金)

■実施場所

市役所各課窓口、市民会館、図書館、総合体育館、健康センター、ガス水道局、消防署

■回答者総数 251人

【利用施設】	▼市役所	▼市民会館	▼総合体育館	▼健康センター	▼ガス水道局	▼消防署	▼未記入
	210人	4人	2人	14人	3人	2人	16人



■アンケートでいただいたご意見(抜粋)

- ・昨年より小千谷に来ましたが、たいへん対応が良いので、気軽に来ることが出来ます。
- ・待っていたら、応対中の職員が別の職員に声をかけ、すぐに対応してもらえた。たいへん親切でよかった。
- ・申請窓口にも誰もいなく、しばらく立ちままた待たされた。呼び出しベルなどがあつた方がよいのでは？
- ・事務室の雰囲気は暗く、愛想が悪い。もっと接遇研修をすべきだ。

■アンケート結果全般を通じて

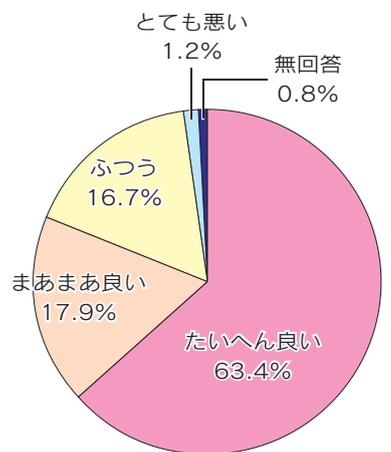
昨年実施したアンケート調査とほぼ同等の評価をいただき、4分の3以上の方に満足いただいている結果となりました。以前より対応が良くなったなどの嬉しいご意見もいただきましたが、まだまだ改善しなければならぬ点が多くあります。

今年度は接遇ガイドブックを改訂し、接遇に力を入れてきたところです。引き続き職員一人ひとりが「いたわりと真心」をもってお客様と接するよう、更なる接遇の向上に努めてまいります。

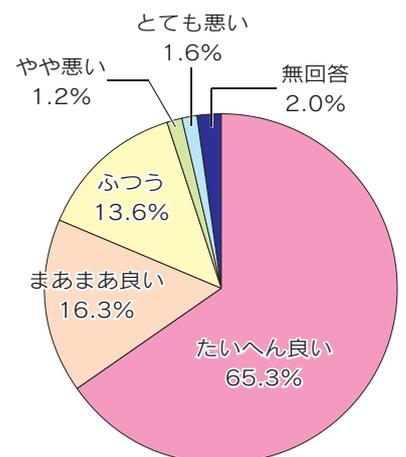
総務課長

■問い合わせ／総務課職員係 83・3506

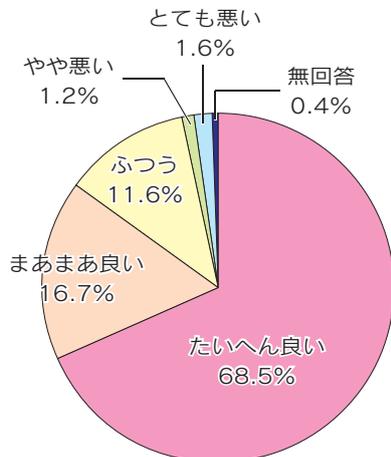
服装やみだしなみについて



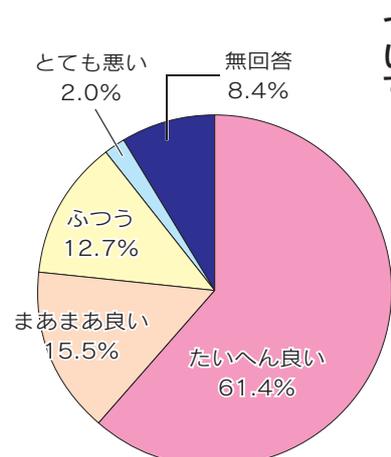
迅速さについて



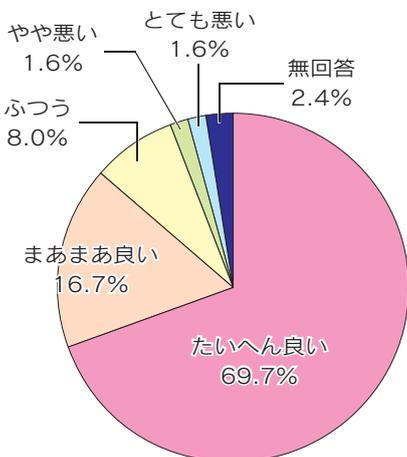
言葉づかいについて



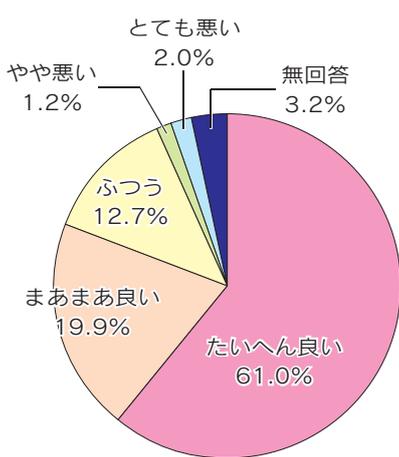
業務(相談など)に対する説明について



親切・ていねいさについて



総合的に見た職員の対応について



いんごちはー市長です

(46)



「幽霊の正体見たり枯尾花」と言う句があります。怖い怖いと思つて見ると幽霊に見えたものが、良くよく見ればススキの枯れた穂であったとの意味です。人間の心理の弱いところをついているとも解釈できます。このようなことは、私の日常生活でも良くあることで、漠然として根拠に乏しいことをそのまま信じて、危うく物事の本質を見逃してしまいうことになることがたびたびあるように思います。

昨年あたりから良く使われる「閉塞感」という言葉があります。何事も、日本の社会がうまく行かないのは「閉塞感」のためだ、と言うと的を得た評論になるような気分がする便利な言葉かも知れませんが、それでは、その「閉塞感」の実態が何であつて、それをどうすれば良いか、まで論じられる場合は少ないように思います。

私も、「閉塞感」と言う言葉は、マイナス思考に繋がるような気がしてあまり好きではないのですが、今年も正月早々、新聞などにこの言葉が活字となっていました。

楽観論は避けるべきかもしれないかもしれませんが、いつまでも枯れ尾花を幽霊だと思ひ込んで怖がり続けるのも、決

して得策ではありません。アジアの諸国が着々と経済発展をしている中、日本だけが取り残されているように見え、たいへん歯がゆい思いです。我が市では、市民のみならずのたゆまぬ努力により、経済活動が再び活気を取り戻しつつあるように感じます。「閉塞感」などと一言で片付けるのでは無く、どう具体的に対処するかを考え、前向きに歩み続ける努力をすることが大切でしょう。

(谷井 靖夫)



●1月23日(日)に若柵を訪れたJAICA研修生と若柵のみなさんの交流会の様子です。みなさんとても前向きで、積極的に交流を深めていました。

農地の賃借料情報

平成22年1月から12月までに農業委員会に届け出をした農地(田・畑)の貸し借りの実勢価格をお知らせします。この実勢価格はこれまでの標準小作料が廃止になったため、参考として提供するもので、拘束力はありません。土地改良費、生産調整面積については、貸し手、借り手で協議し賃借料を決定してください。

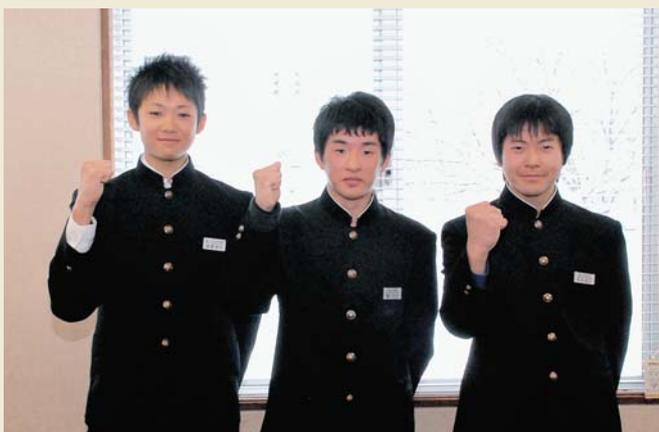
■問い合わせ／農業委員会(農林課内) ☎83-3510

(10アール当たりの年額)

	地域	平均額	最高額	最低額	実例数
田	西小千谷	22,200円	30,000円	12,200円	20件
	東小千谷(浦柄、横渡を含む)	18,200円	29,500円	12,200円	68件
	山辺	23,000円	33,900円	7,500円	233件
	吉谷	18,100円	26,400円	6,500円	126件
	城川	25,800円	34,800円	20,000円	101件
	千田	25,900円	38,700円	14,400円	88件
	真人・岩沢・川井	18,900円	31,000円	5,700円	473件
	東山	-	-	-	0件
	片貝(五辺、高梨を含む)	31,000円	49,000円	12,800円	158件
畑	市内全域	4,600円	9,700円	2,000円	17件

注) 1. 賃借料を物納(水稻)している場合は、60kgあたり15,500円に換算しています。
 2. 土地改良費は締結価格に含まれていません。
 3. 生産調整面積は考慮していません。

全国中学校スキー大会に出場！



△写真左から：滝澤昂大さん、関光矢さん、杵渕俊之さん

1月に行われた県大会で好成績を取めた市内の3選手が、2月7日(月)～10日(木)に福島県猪苗代町で開催された全国大会に出場しました。

▶アルペンスキー

○杵渕俊之さん(東小千谷中学校3年)
県大会成績：回転4位

▶クロスカントリースキー

○滝澤昂大さん(小千谷中学校3年)
県大会成績：クラシカル7位、フリー7位
○関光矢さん(南中学校3年)
県大会成績：フリー10位

なお、滝澤さんは県選抜リレーのメンバーにも選ばれました。

薬物乱用防止のための指導者研修会

1月26日(水)、楽集館で県警の薬物担当の警察官を講師に「薬物乱用防止のための指導者研修会」が開催されました。

これは、日ごろ児童・生徒を指導する教職員や学校医のみならず、大まやコカインなど違法薬物の恐ろしさを知ってもらおうと県学校保健会小千谷支部が県内で初めて実施したものです。参加者は、県警の薬物乱用防止キャラバンカーの見学や講義を通して、改めて違法薬物の依存症や乱用の怖さを学んでいました。

図書館 雑誌リサイクル市

1月29日(土)・30日(日)、市民会館で図書館の雑誌リサイクル市が開催されました。

これは、図書館で保存期限の過ぎた雑誌や除籍図書などを無料で差し上げるもので、2日に分けて約2000冊の雑誌などが並べられました。

初日は、開場前からおおぜいの人々が詰めかけ長い列ができ、人気の雑誌などはあっという間に品切れになりました。



御見積致します
お気軽に連絡ください。

☎83-2628



下水、排水、土留、ブロック工事
アスファルト、コンクリート舗装
お風呂、玄関、お墓、外壁掃除

小千谷市城内1丁目13番15号

(有)小木建設

家をつくりつづけて55年
今後ともよろしく願い申し上げます

MK (株)丸山工務店

代表取締役 丸山 智義

小千谷本社 TEL 82-3242 FAX 82-0580
川口支店 TEL 89-3038 FAX 89-3379
E-mail:maruko-kawaguchi@herb.ocn.ne.jp
http://www2.ocn.ne.jp/~maruko/

有料広告掲載欄です

慈眼寺で文化財防災訓練

文化財防火デーの1月26日の、文化財への防災・愛護意識を広めるため、慈眼寺境内で防災訓練が行われました。

幕末の重要な史跡であり、市指定文化財の「河井・岩村会見の処」がある慈眼寺から出火という想定で、地域のみなさんが見守るなか、地元の町内会、自主防災組織、消防団、消防署員が放水訓練を行いました。

放水訓練の後は、小千谷幼稚園の園児たちが見守るなか、消防署員の指導により、消火器を使った実践訓練が行われました。



学校給食を考える

1月21日(金)、片貝小学校で学校給食記念週間行事として「食育授業」と「給食試食会」が行われました。

この行事は、学校給食の意義や現状について、行政や教育関係者の理解を深め学校給食の充実と発展を図ること、学習を通して子どもたちに栄養やマナーについての関心を高め、もろうことを目的に開催されたものです。

2年生の食育授業では、「五感を使って味わう」をテーマに3種類の大豆を使った料理が配られ、子どもたちは、触ったりにおいを嗅いだり、教わったとおりにしっかりと五感を使って食べ比べていました。

その後、各教室で参加者との給食試食会が行われ、子どもたちは楽しそうに会話をしながら給食を食べていました。



おこは〜そ〜!

2月2日(木)、サンラックおぢやでわんパークの子育てイベント「キラキラタイム」親子で「豆まき」が行われました。

会場には子どもたちとその保護者など180人が集まり、リズム遊びなどを楽しみました。子どもたちの楽しそうな声を聞いた鬼が会場内に入ってくる、泣き声をあげる幼児もいましたが、子どもたちは元気に新聞紙を丸めた「豆」を鬼たちに投げ、節分の行事を楽しんでいました。



田舎料理堪能会

1月30日(日)、真人町で田舎料理堪能会が開催されました。これは真人町の町おこし団体「まっつと活性化委員会」が主催して行われたもので、会場となった古民家「田舎つべ」には、大雪にもかかわらず市内外から21人が集まりました。

会場には、同委員会女性部による地元で採れた野菜や山菜、特産物の真人豆腐や豆乳などを使った約20種類もの料理が並べられ、参加者からは「おいしい」、「次回はいつですか」などの声が聞かれました。



有料広告を募集します

市では、「市報おぢや」と「小千谷市ホームページ」に有料広告を掲載しています。広告掲載は、市の自主財源の強化だけが目的ではありません。市内で事業を営む多くのみなさんから広報紙の紙面や市ホームページの一部を使って、お店や企業・事業所の宣伝をしていただき、まちの活性化に役立てて欲しいのです。多くの申込をお待ちしています。

- 募集期間／3月4日(金)午後5時まで
- 申込／所定の申込書に記入のうえ、企画財政課広報広聴係に申し込みください。申込書は市ホームページhttp://www.city.ojya.niigata.jp/からダウンロードできます。
- 広告掲載の決定／申込んだいた内容を「広告掲載取扱要綱」「広告掲載基準」に基づき審査したうえで、掲載の可否を決定します。なお、枠数を超える申込があった場合は、定められた順序により決定します。
- 掲載できない広告／公共性・公益性・品性を損なうおそれのあるもの、法令などに違反または違反するおそれのあるものなど、掲載できない広告もあります。
- 申込・問い合わせ／企画財政課広報広聴係 ☎83・3507

●市報おぢや

市内全戸はもちろん、県内外の公共機関などにも届けられ、幅広い年代のみなさんが目にする広報紙です。

- 発行日／毎月10日・25日
- ※どちらも広告を掲載できます。
- 1回の発行部数／13650部
- 募集枠数／各号4枠
- ※枠に余裕がある場合は2枠合併の掲載もできます。
- 掲載位置／
- ▼10日発行号・「まちの話題RUPON&NEWS」のページ下段
- ▼25日発行号・「お知らせ」のページ下段
- ※掲載位置の指定はできません。
- 広告の規格／
- ▼大きさ・▽1枠Ⅱ縦45・5mm×横82・0mm
- ▼2枠合併Ⅱ縦45・5mm×横170・0mm
- ▼刷色・黒1色
- ※広告原稿(イラストレーターなどで作成したEPS形式の電子データ)は、広告主の責任と負担で作成してください。
- 広告掲載料(1回当たり)／
- ▼1枠・15000円
- ▼2枠合併・30000円
- ※広告掲載料は、一括前納となります。
- 広告の掲載期間／4月10日発行号より平成24年3月25日発行号まで。最長24回まで掲載することができます。

●小千谷市ホームページ

バナー広告をクリックすると、みなさんのお店や企業・事業所が運営するWebサイトにリンクします。

- 市ホームページアドレスhttp://www.city.ojya.niigata.jp/
- アクセス数(トップページ)／月平均約40000件
- ※最近半年間の平均値です。ただし、今後のアクセス数を保証するものではありません。
- 募集枠数／8枠
- 掲載位置／市ホームページのトップページ下段
- ※掲載位置の指定はできません。
- ※市ホームページのデザインの変更などにより、広告の掲載位置や順序、枠数に変更になる場合があります。
- 広告バナーの規格／
- ▼大きさ・縦60ピクセル×横120ピクセル
- ▼形式・GIF、JPEG(アニメーションやロールオーバーなど、画像が変化するのは不可)
- ▼容量・4キロバイト以下
- ※バナーの電子データは、広告主の責任と負担で作成してください。
- 広告掲載料／1枠当たり月額10000円
- ※広告掲載料は、一括前納となります。
- 広告の掲載期間／4月1日より平成24年3月31日まで。広告掲載期間は1か月単位で、最長12か月まで掲載することができます。
- その他／広告の内容やリンク先が適当でないとは判断したときは、掲載をお断りする場合があります。



募集期間終了後、枠に空きがある場合は随時、申込を受け付けます。申込締切日は次のとおりです。

- 市報おぢや
- ▼10日発行号／掲載を希望する号の発行月の前月15日
- ▼25日発行号／掲載を希望する号の発行月の1日
- 市ホームページ
- ▼掲載開始を希望する日のおおむね14日前
- ※どちらも、枠数を超える申込があった場合は、定められた順序により決定します。

ごみ処理の有料化まであとわずか！

みなさんの「こんなとき、どうするの？」にお答えします

ごみ処理の有料化が開始される4月まで後わずかとなりました。市では有料化へスムーズに移行できるように、昨年7月から12月の間に118回の町内説明会を行い、延べ6,090人の方から出席していただきました。今回はこの説明会で質問のあった代表的なものをいくつか紹介します。



■枝や葉などの出し方

- Q. 庭の木の枝はどうやって出せばよいのか？
- A. 敷地に余裕があれば、堆肥化してください。ごみとして出すのであれば、指定袋に入れて枝は先を紙に包んで破けないようにして出してください。大量の時は、時水へ自己搬入してください。い

■分別区分と出し方

- Q. ペットボトルの包装は剥がしたほうが良いのか？

- A. 剥がさなくてもかまいません。プラスチック製のキャップは、容器包装プラスチック類へ出してください。

- Q. 空き缶は潰して出したほうが良いのか？

- A. 潰さないでください。空き缶は収集のときにピンを割らないためのクッション材となるためです。

- Q. ラップに貼ってある値札はどうしても剥がさなければならないか？

- A. 無理に剥がさなくてもかまいません。

- Q. 有料化後、無料のごみは今まで通り透明または半透明の袋を使用すればよいのか？

- A. 今までどおり、透明または半透明の袋を使用してください。

- Q. カレーのカップ麺など、着色したものも容器包装プラスチック類として出してよいのか？

- A. ササッと洗って落ちないものは、その状態で出してもかまいませんが、かやくなどの食べ物（異物）は必ず取り除いてください。

■不法投棄について

- Q. 有料化になると田んぼや山への不法投棄が今より増えるのではないかと見つけた場合どうすればよいのか？

- A. 市に連絡いただければ確認に行きます。不法投棄されたものは、市も片付けなどのお手伝いはできますが、基本的には土地の所有者から片付けていただくようお願いしています。

■危険物の出し方

- Q. 新しくできた危険物の分類は有料の袋でなくても良いのか？

- A. 無料なので、レジ袋などの透明または半透明の袋に「キケン」と書いて出してください。

- Q. うっかり割ってしまった蛍光灯はどうやって出せばよいのか？

- A. 埋立ごみとして出してください。出す際は、紙で包んで「ワレモノ」などと表示して出してください。

■古紙の出し方

- Q. ティッシュの箱のビニールをとれば雑誌・チラシ類として出せるか？

- A. 出せません。お菓子の箱や包装紙も汚れていなければ古紙へ出してください。

- Q. 古紙にならないものは何か？

- A. レシートなどの感熱紙、臭いのついた紙（線香、洗剤など）、紙皿・紙コップなどの防水加工された紙、金融機関などから郵送されてくる圧着式のはがき（親展はがき）などです。

■その他

- Q. 指定袋を使わずに収集されなかったごみはどうするのか？

- A. ごみを出した方はごみを持帰り、指定袋を使用して再度出してください。また、分別が不適切で残された場合は町内に無料袋を配布するので、それを使って再度出してください。

- Q. 指定袋には名前を書くのか？

- A. 袋に名前等を書くことまでは市で統一していないので町内のルールで対応してください。袋には名前を書けるスペースは用意します。

■問い合わせ／市民生活課環境衛生係・廃棄物施設係 ☎83-3509

平成23年4月1日からごみ処理の有料化が始まります。ご理解とご協力をお願いします。

小千谷のひいな祭り

小千谷にはひいな祭りに「ひな人形」を飾った部屋一面に色とりどりの絵紙（浮世絵）を飾る風習があります。ぜひご覧ください。

●絵紙で彩る小千谷のひいな祭り

色とりどりの絵紙（浮世絵）を部屋一面に飾る小千谷のひいな祭りの風習を再現します。

■期日／2月27日(日)～3月6日(日)

■時間／午前10時～午後3時

■会場／照専寺和順会館、平成商店街協同組合加盟店舗ほか

■観覧無料

■内容／▽絵紙とおひなさまの展示▽浮世絵摺師による実演（会場：照専寺和順会館／3月5日(土)午後3時～、6日(日)午前11時～・午後3時～）

■問い合わせ／絵紙で彩る小千谷のひいな祭り実行委員会（横山表具店）☎82・2509

●小千谷のひいな祭り ほんまち版

本町商店街協力店では、絵紙とおひなさまの展示が行われます。

■期日／2月27日(日)～3月13日(日)

■時間／午前10時～午後5時

■会場／本町商店街

■観覧無料

■内容／▽絵紙とおひなさまの展示▽幼稚園児によるおひなさまの絵の展示（アーケード）

■問い合わせ／本町おかみさん会（たかのスパー内）☎83・3311

小千谷に伝わる浮世絵展

昨年度好評をいただいた浮世絵展の第2弾です。今回も「小千谷のひいな祭り」に合わせて開催します。

歴史的にも価値のある浮世絵を展示しますので、ぜひご覧ください。



■期日／2月26日(土)～4月10日(日)

※火曜日は休館日です。

■時間／午前10時～午後6時

■会場／楽集館

■観覧無料

■問い合わせ／▽生涯学習スポーツ課生涯学習係（総合体育館）☎83・0077▽楽集館☎82・8282

紬で歩く小千谷のひいな祭り

「小千谷のひいな祭り」に紬の着物で参加してみませんか。

■日時／3月6日(日)午前10時30分～午後3時

■内容／▽ひいな祭り会場散策▽割烹「東忠」で食事▽小千谷織物工房特別展示見学

■参加費／3000円（食事代など）

■定員／30人（要事前申込・先着順）

■その他／▽徒歩での散策です。▽申込者には後日、詳細をお知らせします。▽小千谷の着物を貸出可能です。（先着6人。別途3000円が必要です）

■申込・問い合わせ／小千谷観光協会（商工観光課内）☎83・3512

小千谷織物工房「小千谷縮・紬クリエイター展」

「小千谷のひいな祭り」の開催に合わせ、特別展を開催します。ぜひお立ち寄りください。

■期日／2月27日(日)～3月6日(日) ※水曜日は定休日です。

■時間／午前10時～午後5時

■会場／サンプラザ小千谷織物工房「織之座」、「匠之座」

■内容／▽小千谷縮・紬新作展示▽世界無形文化遺産資料展示▽いざり機の実演（3月5日(土)・6日(日)、両日とも午後2時～3時30分）など

■観覧無料

■問い合わせ／小千谷織物同業協同組合☎83・2329

水道管の凍結防止

気温が氷点下になると、水道管が凍結する恐れがあります。大切な水道管を寒さから守ってください。



■凍結はこんなところで

- ・露出している水道管
- ・北向きの水道管
- ・風当たりの強いところにある水道管

■凍結を防ぐには

- ・水道管の露出部分を保温材で防護する。
- ・夜の冷え込みが厳しいときは、湯沸器などの水抜きをする。
- ・凍結が予想されるときは、蛇口から箸の先程度の太さで細く水を出す。

■凍結して水が出ないときは

タオルをかぶせて、その上からゆつくりとぬるま湯をかける。※絶対に熱湯はかけないでください。水道管が破裂する恐れがあります。

■破裂したときは

早急に市水道公認工事店に修理を依頼してください。なお、修理の費用はお客様の負担となります。

■問い合わせ／ガス水道局業務課業務係☎82・4115

子育て講座 受講生募集

わんパークでは、楽しく子育てができるよう「子育て講座」を開催します。

みなさんの参加をお待ちしています！

■申込・問い合わせ／わんパーク☎81-7564

●ベビーマッサージ&母乳・育児相談

赤ちゃんとお母さんがリラックスし、楽しく育児ができるようベビーマッサージの講習を行います。また、母乳や子育てに関する相談もお受けします。

■日時／3月10日(木)午前10時30分～11時30分

■会場／わんパーク

■対象／10か月くらいまでの赤ちゃんとお母さん

■講師／若林道代さん（助産師）

■持ち物／バスタオル

■参加費／300円（オイル代）

■定員／20組（要事前申込。初

めての方優先）



●親子の運動遊び

親子で楽しく身体を動かしながら、お子さんの運動機能を促す遊びを学びましょう。

■日時／3月15日(木)午前10時30分～11時30分

■会場／わんパーク

■対象／1歳半くらいから入園前までの親子

■講師／遠藤則子さん（市体育指導委員）

■参加無料・要事前申込

■定員／20組（定員になり次第締切）

キラキラタイム

3月はひなまつりお話シアター「魔法でひらひらぱっ！」です。森に魔法をかけるとあら不思議、春がやってきました。どんな春がきたのかな？お楽しみに！

■日時／3月3日(木)午前10時30分～11時

■会場／わんパーク

■申込不要

■問い合わせ／わんパーク☎81-7564

子育てなんでも相談（個別相談）

お子さんの発育に関すること、お母さんや妊娠中の方のからだに関することなどで心配事や気になることはありませんか？今回は助産師が相談をお受けします。

■日時／3月8日(木)午前10時～11時30分

■会場／わんパーク

■相談無料

■申込締切／3月4日(金)（電話申込可）

■申込・問い合わせ／わんパーク☎81-7564

うぶごえ教室

出産や育児のための教室です。ご夫婦一緒の参加も大歓迎！妊婦体験ジャケットもあります。

■日時／3月14日(月)午前9時～9時10分受付

■会場／健康センター

■対象／妊婦、1歳未満の子どもの母親や父親など

■持ち物／母子健康手帳、エプロン、三角布、お子さんの離乳食、おんぶひも

■参加無料

■申込締切／3月9日(水)

■申込・問い合わせ／健康センター保健係☎83-3640

3月

乳幼児の健康診査日程

■問い合わせ／健康センター保健係☎83-3640

▶会場は健康センターです。発熱や発疹など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。

▶乳幼児健診の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。

▶番号札配布開始時間／午前に開催の場合：午前8時30分～、午後に開催の場合：正午～

健診名	対象	期日	受付時間	持ち物	その他
4か月児健康診査	平成22年10月生まれ	3月3日(木)	13:00～13:10	母子健康手帳、バスタオル、替え用のオムツ	離乳食講習会を同時実施
10か月児健康診査	平成22年4月生まれ	3月2日(水)	13:00～13:10	母子健康手帳、替え用のオムツ	離乳食後期の講習会を同時実施
1歳6か月児健康診査	平成21年8月生まれ	3月9日(水)	13:00～13:20	母子健康手帳	歯科検診を行います。歯をみがいて来てください。
2歳児歯科検診	平成21年2月生まれ	3月11日(金)	9:00～9:10	母子健康手帳、お子さんの仕上げみがき用歯ブラシ	幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来てください。
3歳児健康診査	平成20年2月生まれ	3月10日(木)	13:00～13:20	母子健康手帳、目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、採尿した容器	歯科検診を行います。歯をみがいて来てください。

新生活応援 初心者料理教室

春からの新生活に役立つ、料理の基本講座です。

- 日時／3月16日(水)午前10時～午後1時
- 会場／勤労青少年ホーム1階料理講習室
- 対象／市内在住または在学の学生(高校生以上)
- 講師／川井厚子さん
- 定員／15人
- 受講料／500円
- 持ち物／エプロン、持ち帰り用タッパーなど
- その他／定員まで随時受付しています。詳しくはお問い合わせください。

- 申込・問い合わせ／平日の午前8時30分～午後9時、電話または直接勤労青少年ホームへ ☎82・8510

平成22年度障がい者就職面接会

就職を希望する障がい者と求人者との合同面接会を開催します。

- 日時／3月8日(火)午後1時受付開始、4時終了予定
- 会場／ハイブ長岡1階大展示ホール (長岡市千秋3-315-11)
- 対象者／就職を希望する障がい者
- その他／事前に申込が必要です。
- 申込・問い合わせ／ハローワーク長岡 専門援助部門 ☎32・1181 (音声案内コード42#)

図書館 文学講座

一般教養としても、とても分かりやすいお話です。気軽に参加してみませんか。

- 日時／2月27日(日)午後2時～3時30分
- 会場／市民会館2階中会議室
- 内容／▽講師・佐藤正二さん(長岡市、堀口大学を語る会代表)▽演題:「堀口大学と西脇順三郎」
- 問い合わせ／図書館 ☎82・2724

「お口の健康に関するアンケート」調査にご協力をお願いします!

市では歯科保健計画を策定するために「お口の健康に関するアンケート」調査を実施しています。

市民から無作為抽出により選ばれた方を対象に調査票を郵送しました。調査票は2月18日(金)までに投函してください。ご協力をよろしくお願いします。

- 問い合わせ／健康センター保健係 ☎83・3640

赤十字救急法救急員 資格継続研修

- 日時／3月13日(日)午前9時～午後1時
- 会場／サンラックおぢや
- 対象／有効期限内の認定証をお持ちの方で、かつ資格を取得して2年以上経過した方
- 内容／心肺蘇生法など救急員養成講習の復習
- 持ち物／
▷教材費1,000円
▷救急員認定証
▷80円切手を貼った封筒 (住所が明記されたもの)
▷筆記用具
- 定員／30人(先着順)
- 申込期限／3月2日(水)
- 申込・問い合わせ／社会福祉課福祉係 ☎83-3517

東小千谷地区 冬季スポーツフェスティバル

さまざまなイベントを用意してお待ちしています。東小千谷地区外の方も参加できます。

- 日時／3月6日(日)午前9時30分～午後2時
- 会場／勤労青少年ホーム前広場
- 東小千谷体育センター
- 内容／▽雪像展示▽タイヤチェーン▽雪上ソフトバレー▽豚汁、甘酒の無料配布▽うどん、ヤキトリ、飲み物などの販売(午前11時～)
- その他／雪の状況により競技などの内容が変更になる場合があります。
- 問い合わせ／公民館東小千谷地区五分館連絡協議会(勤労青少年ホーム内) ☎82・8510

消費者のための薬のセミナー

小千谷市消費者協会では、薬の正しい知識・正しい使い方のセミナーを開催します。どなたでも気軽にお越しください。

- 日時／2月19日(土)午前10時30分～11時30分
- 会場／市民会館2階中会議室
- テーマ／「ジェネリック医薬品について」
- 講師／郷 誠一さん(小千谷市薬剤師会・ひまわり薬局)
- 参加無料・申込不要
- 問い合わせ／消費者協会事務局(市民生活課内) ☎83・3509

消費者協会会員募集

小千谷市消費者協会では、現在、36人の会員が、毎日の生活に関わる『消費生活』全般についての学習やさまざまな活動を行っています。

- 活動内容／▽食品・環境・金融などの学習会▽エコ料理教室▽不用贈答品即売会▽議会の傍聴▽マイバツク啓発▽廃油せっけん作りなど
- 年会費／2000円
- 申込・問い合わせ／消費者協会事務局(市民生活課内) ☎83・3509

■まちのうごき（1月31日現在）

人口と世帯数 ※（ ）内は前月比			気象データ1月				消防本部出動状況			交通事故発生状況		
			23年1月		過去10年の平均		23年1月		22年1月	23年1月		22年1月
男	19,364人(-21)	出生	24人	平均気温	-0.7℃	0.8℃	火災	1件	4件	件数	8件	12件
女	19,891人(+2)	死亡	43人	最高気温	5.5℃	8.6℃	救急	142件	121件	死者	0人	0人
合計	39,255人(-19)	転入	33人	最低気温	-7.3℃	-6.4℃				傷者	9人	13人
世帯数	12,628世帯(-1)	転出	33人	降水量月計	496.5mm	355.4mm	◀気象データは、小千谷市消防本部速報値（観測地：元中子）					



講師紹介

法政大学メディア社会学科教授、国際日本学インスティテュート(大学院)教授。

専門は日本近世文化・アジア比較文化。江戸時代の美術、生活文化、海外貿易、経済などの研究とともに中国文学を中心に東アジアと江戸の交流・比較研究、布や生活文化を中心にインド・東アジアと江戸の交流・比較研究を行い、江戸時代の価値観から見た現代社会の問題を提言している。

サントリー美術館企画委員、放送文化基金審査委員、毎日新聞書評委員などを歴任。『江戸の想像力』『江戸百夢』『カムイ伝講義』『未来のための江戸学』など著書多数。

田中優子さんの講演会

日曜日朝のBSNの番組「サンデーモーニング」のコメンテーターでおなじみの田中優子さん(法政大学メディア社会学科教授)を講師に招き、小千谷市文化講演会を開催します。エッセイストであり、江戸文化を広く研究されている田中さんから、江戸学から見た現代社会への提言をいただきます。

■日時／3月17日(休)午後6時30分開場、午後7時開演

■会場／市民会館大ホール

■演題／「未来のための江戸学」戦のない社会をどう作り上げたか〜

■入場無料 ※ただし、聴講券が必要です

■聴講券の申込方法／2月15日(火)以降、総合体育館または市民会館で直接受け取るか、往復はがきに必要事項を記入し、申し込みください。申込は1人2枚までとさせていただきます。

■申込締切／2月25日(金)

■定員／500人

■その他／▽手話通訳、要約筆記を行います。▽未就学児の入場はできません。保育ルームを設置しますのでご利用ください。子ども1人につき300円です。聴講申込時にあわせて申し込みをしてください。当日申込は受け付けません。

■問い合わせ／生涯学習スポーツ課生涯学習係(総合体育館内)
☎83・0077

郵便往復はがき

9 4 7 0 0 3 5

往信

小千谷市総合体育館
小千谷市文化講演会行

《返信はがき裏面》

【注意】
この面には何も書かないでください。
入場整理券を印刷して返信します。

郵便往復はがき

あなたのご住所

あなたのお名前

《返信はがき裏面》

「田中優子講演会」
聴講希望

●ご住所 ●お名前
●年齢 ●性別
●連絡先電話番号

女性健康支援センター事業
思春期子育て相談会

思春期特有の問題や思春期の子どもの関わり方などに悩んでいるお母さんを対象に、カウンセリング相談会を行います。相談を受けるには事前に予約申込が必要です。また、お子さんと一緒に相談も可能です。

■日時／3月5日(土)午後1時〜4時

■会場／健康センター

■相談担当／澤 真理さん(長岡カウんセリングルーム臨床心理士)

■申込期限／2月22日(火)

■その他／詳しい内容はホームページ

▶ http://www.pref.niigata.lg.jp/numa_kenkou/ からご覧いただけます。

■申込・問い合わせ／魚沼地域振興局健康福祉部 ☎025・792・8612

JR小千谷駅改良工事

JR東日本では、1月から小千谷駅の改良工事を行っています。

改良工事では、まちの顔にふさわしい、市民のみなさんに可愛がっていただける駅づくりを進めています。完成予定は9月です。工事期間中、ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

■問い合わせ／東日本旅客鉄道株式会社新潟支社総務部企画室 ☎025・248・5104

作ってみてね！この料理



ひじきと春雨の大豆サラダ

<作り方>

- ① 干しひじきは水で戻す。人参は太めのせん切りにする。ツナは缶からザルにあけ、缶汁を切っておく。
- ② きゅうりは半月の斜め薄切りにし、熱湯でさっと茹でておく。
- ③ 春雨を熱湯でやわらかく茹で、適当な長さに切っておく。
- ④ 人参を熱湯で茹で、少しやわらかくなったら大豆・ひじきを加え、ひと煮立ちしたら火を止めてしばらく放置し、ザルにあけ水気を切る。
- ⑤ ボウルにしょうゆ、酢、ごま油を入れてドレッシングを作り、材料をすべて入れて和え、器に盛り付ける。

👉今月のワンポイント

きゅうりは塩もみせず、熱湯でさっと茹でることで減塩につながります。

<栄養価> (1人分)

▷エネルギー146kcal▷たんぱく質8.9g▷脂質7.8g▷塩分1.6g



<材料> (4人分)

ゆで大豆(水煮).....100g
 ツナ缶(80g入).....1缶
 干しひじき.....10g
 春雨.....20g
 人参.....50g
 きゅうり.....1本
 しょうゆ.....大さじ2
 酢.....大さじ2
 ごま油.....小さじ1

■献立・調理/小千谷市食生活改善推進委員

編集後記

●5年ぶりに豪雪災害対策本部が設置される大雪となつてしまいました。立春も過ぎて、春は遠くはないと思いますが、これ以上の積雪にならないことを祈るのみです。

さて、今月は「おちや風船一揆」や各地域の雪を活かしたイベント、スキー大会、絵紙を飾る独特なひな祭り展などが目白押しです。市外からのお客さまも多いと思います。大雪に負けずにみんな楽しんでみましょう。☺

●「猛暑」だった年は大雪この言葉が昨年よくマスコミに登場していました。今年に入りそれが現実となつてしまいました。今回、5年ぶりの豪雪災害対策本部の設置、あの中越大地震の後の冬以来です。「雪は形を変えた雨水である」私の先輩だった職員の方の言葉ですが、なぜかこの時期になると頭に浮かんできます。「何事も発想の転換だよ」って、いつも聞かれる気がするのです。☺

●降り積もった雪と除雪によつてできた、昨年よりさらに高い壁：小千谷で生まれ育つてもほとんど見たことのない景色に驚いています。

話題は変わりますが、昨年10月10日発行の「市報おちや」が平成22年度県広報コンクール広報写真(組み写真)の部で知事賞をいただきました。いつも読んでくださるみなさんに感謝です。ありがとうございます。これからも頑張ります！☺

ちぢみの里の利用券が当たる

解答をはがきでお送りください。正解者の中から、抽選で3人にちぢみの里の利用券を贈呈します。市報おちやの感想もあると担当はうれしいのですが...

広報クイズ

問題

小千谷には、ひな祭りに「ひな人形」を飾った部屋一面に色とりどりの何かを飾る風習があります。さて、一体何を飾るのでしょうか？

①絵紙(浮世絵) ②ひな人形のポスター ③ひな人形の写真(ヒントは12ページ)

■応募先

〒947-8501
小千谷市役所企画財政課広報広聴係あて
(住所の記載は不要です)

■締切

2月24日(木)(当日消印有効)
1月号の答えは、③「ビニールひも」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。
大塚良子さん 羽鳥由紀子さん 星野正子さん